

<p><研究課題名></p>	<p>RF-1011</p>	<p>東南アジアにおける違法伐採・産地偽装対策のためのチーク産地判別システムの開発</p>
----------------------	----------------	---

<研究概要>

違法伐採抑止のための木材の合法性・違法性証明を行うには、産地判別誤差・誤判定の可能性が小さい木材の産地判別技術を開発する必要がある。1年生の農産物の産地判別と違い、樹木は数十年以上の間成長して年輪を形成するので、木材は農産物に比べてより多くの同位体情報を含んでいる。研究代表者は、年輪の同位体比時系列作成により多数の安定同位体比データを複数年にわたって比較することにより、北米産の木材の産地を誤差60-300 kmで判別することに成功した（Kagawa & Leavitt 2010）。これは、輸入される原木の産地国を判別する技術としては十分な精度である。本申請では、この新しい木材産地判別法を初めて違法伐採地域から産出する木材に適用し、東南アジア産のチーク原木丸太の産地判別を試みる。木材の産地判別が高精度・高的中率で可能になれば、違法伐採材が日本に輸入されることを水際で抑止できる可能性があり、森林保全政策や地球温暖化対策への貢献が期待できる。

<p><研究代表者></p>	<p>香川 聡</p>	<p>(独)森林総合研究所木材特性研究領域主任研究員 (37才)</p>
----------------------	-------------	--------------------------------------

No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	安定同位体比・年輪幅・密度によるチーク産地判別システムの開発	◎ ○	香川 聡 黒田 克史	(独)森林総合研究所木材特性研究領域主任研究員 (独)森林総合研究所木材特性研究領域主任研究員